

JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！



近畿地区大会
彦根大会
開催

近畿地区大会 彦根大会の様子をお届け！

一心発起！ TAKE ACTION！

～彦根ライオンズクラブ～ 岸邊 由朗 氏

発見！ひこねの魅力体験記！

国宝 彦根城

新入会会員
3名の紹介！



写真：彦根JCメンバー

近畿地区大会 彦根大会 開催！

7月3日、待ちに待った近畿地区大会 彦根大会がついに開催されました！彦根青年会議所が主管する、近畿地区94LOM大注目の本大会！熱冷めやらぬその様子を連載記事「一心不乱！2021地区大会inひこね！」、「一心同体！夢、希望溢れる同志たち！」、合併記事としてお送りします！

7月3日（土）、滋賀県は米原市「文化産業交流会館」にて近畿地区大会 彦根大会が開催されました。近畿地区に点在する青年会議所94LOMの注目が集まる本大会。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮してハイブリッド開催とし、式典とフォーラムが執り行われました。

大会の始まりを華々しく飾るのは滋賀大学よさこいサークル「椀（もみじ）」による石田三成をイメージした圧巻の演舞。彦根と言えば石田三成の居城「佐和山城」がある三成ゆかりの地です。大会への期待感を盛り上げる最高のステージパフォーマンスから本大会は幕を開けます。「椀」のパフォーマンスによる興奮が冷めやらぬ中、続いて近畿地区大会 彦根大会のオープニング動画が映されます。大会テーマ「郷土愛を育み未来へ跳ぶ 近畿の実現 伝統を「Redesign」、」の言葉と共に、彦根城を始め、地域の風景、そして彦根青年会議所の活動風景が映し出されます。



滋賀大学 よさこいサークル「椀」、
圧巻のパフォーマンスに息を呑む



彦根青年会議所
第68代理事長
北村忠征 君



日本青年会議所
副会頭
佐藤友哉 君

オープニング映像が終わり会場が明転すると、壇上には彦根青年会議所第68代理事長 北村忠征君の姿が…！近畿地区大会 彦根大会の開会宣言です。「新型コロナウイルス感染症の影響により我々が思うような大会を実現することはできない。しかしどんな状況下であっても我々青年会議所は歩みを止めることはない。青年会議所のメンバーは並大抵のことでは屈しない強い気概を持った強者ばかり。コロナ禍であっても決して屈せず前だけを見て、がむしゃらに活動を行っていく！」ハイブリッド参加者を含めて数百人が大注目する中、主管LOMの理事長として堂々と開会宣言をする北村理事長の姿に、大会参加者はもとより、今日まで本大会の設営に関わってきた彦根青年会議所メンバーにも熱いものがこみ上げてきます…。

主催者を代表して日本青年会議所 副会頭 佐藤友哉君から挨拶が行われます。「地区協議会の運動発信における最大の場が近畿地区大会である。午後からのフォーラム全てが各地、各事業の発展に繋がる。そしてガイドラインを重視し安全に配慮すれば、これだけの大会がコロナ禍でもできるという事実を各地に持ち帰っていただき各事業に活かしていただきたい」と熱く語られました。

続いて日本青年会議所 近畿地区協議会 2022年度会長予定者として東大阪青年会議所より中山吉典君が登壇されました。力強い言葉に、次年度への期待感が高まります。その後2022年度近畿地区大会の主管青年会議所として、一般社団法人 高槻青年会議所が発表されると同時に、大会キーの伝達式が行われました。我々が北村理事長も本年度主管LOM理事長として登壇します。大会キーに込められた想いが、一足先に次年度主管LOMへ引き継がれます。



2022年度
近畿地区協議会
会長予定者 中山吉典 君

ご来賓の方々…
青年会議所に託す
熱い想いが語られた



大会キー伝達式の様子

続いて近畿地区協議会 各委員会の中継報告が行われ、最後には近畿地区協議会 滋賀ブロック協議会 中島吉浩君の閉会宣言により式典は幕を閉じました。しかしまだまだ終わらないのが近畿地区大会彦根大会！式典後には4つのフォーラム、メインフォーラム、教育フォーラム、国際フォーラム、防災フォーラムが開催され、参加者に多くの発見と学びの場を提供することとなりました。

★フォーラムについては、公式WEBサイトのURLよりアーカイブ動画を是非ご視聴ください →



本大会を開催するにあたり、彦根青年会議所メンバーは事前準備に始まり、当日の受付、駐車場誘導、大会会場の設備設置…大会を支えるために近畿地区大会実行特別委員長の山田雅崇君をはじめ、多くの時間を費やしてきました。苦労した時間に比例して得たものも大きく、参加したメンバーの心に残る大会となったことに間違いありません。そして私たち彦根青年会議所は来たる70周年記念に向けて、本大会の経験を糧としなければいけません。全ては地域活性化のために。そして自分たちの成長のために。これからも彦根青年会議所の活躍と地域「ひこね」の活性化に乞うご期待ください！



一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！TAKE ACTION！」では、地域（彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）の活性化に繋がるACTION！を起こしている組織内外の人物や組織に取材を行い、12ヵ月に渡り記事を掲載していきます！7回目となる今回は彦根ライオンズクラブ、会長の岸邊 由朗氏にお話を伺いました。「We serve」（我々は奉仕する）をモットーに活動されているライオンズマン達の想いとは！？地域社会の注目と尊敬を集める歴史深き組織の全貌をご覧ください！

質問：まず初めに彦根ライオンズクラブ、(以下、ライオンズ)は、どういった団体なのか教えてください。

岸邊氏(以下、岸邊。敬称略)：彦根市・犬上郡・愛知郡を中心に、社会貢献、奉仕活動を行っている団体です。地域施設でのボランティア活動や、清掃活動、盲導犬啓発活動、薬物撲滅へのチラシ配りなど、他にも多くの活動を長年続けさせていただいております。

質問：地域のために地道な活動を続けておられるのですね。ライオンズでは寄付などを主にしておられるイメージがありました。

岸邊：私たちの活動の根幹にあるものは「奉仕・友情・修練」です。地域に対する奉仕活動が軸となり、そこから生まれる繋がり、友情を大切にしています。寄付は地域から必要とされた時、本当に必要な物であるとメンバー同士で判断した際に稀に行っていますが、あくまで現場での地道な奉仕活動がメインとなりますね。



彦根ライオンズクラブ
会長 岸邊由朗 氏

質問：具体的にライオンズとしては現場での奉仕活動以外に、こういった活動をされているのですか？

岸邊：基本的には月2回の例会を開催し、各委員会の活動報告であったり、メンバーの学びの場となるような設えをしています。また春の家族例会、クリスマス家族例会など、互いの家族も参加して絆を深める機会もあります。

質問：ライオンズではこういった人たちが入会されるのですか？

岸邊：主に地域の事業者、経営者が集まっています。ライオンズでは年齢による「卒業」というものはありません、幅広い年代の方々が集い、仲間となり、強い絆を結んでいます。

質問：ライオンズに入会することで得られるメリットはそこですね。

岸邊：そうですね。地域への奉仕を通じて繋がりが生まれ、そしてそれは友情へと変わります。また地域への奉仕活動から、自分の新たな生き方、考え方を見つけることができます。ライオンズに入会することで、人生が豊かになると言っても過言ではありませんよ。

質問：本年度、岸邊会長のスローガンでもある「健康で、すこやかに！そして奉仕」に込める想いをお聞かせください。

岸邊：ご存知の通り昨年より新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、当クラブの活動にも大きな影響を及ぼしています。現時点でも予断は許さず、種々の対策を取っていかなければならないのが現実で、今後もまだまだ「我慢」が必要です。そのために、健康で過ごしていくことが一番大事であり、そうした中で周囲の状況を鑑み、次のクラブ活動へと繋げて行きたい…という想いから、本スローガンを立てさせていただきました。



質問：ありがとうございます。最後に本年度の会長として、これから彦根ライオンズクラブをどういった組織にしていきたいかお聞かせください。

岸邊：これからもっと多くの仲間を集め、奉仕活動を通じて絆を深めたいと考えています。そして何より大事なことは地域に貢献することです。それが私たちライオンズマンの務めです。今年度役員一丸となりクラブ運営を執り行わせていただくとともに、クラブメンバーの皆様のご協力と、地域の皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



LIONS CLUB OF HIKONE
彦根ライオンズクラブ



発見！ひこねの魅力体験記！

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます！7回目となる今回は国宝「彦根城」！言わずと知れた彦根を代表する観光スポットです。2024年に世界遺産登録を目指すその魅力をご紹介します！

母なる湖「琵琶湖」を眼下に、ひこねのまちを見守り聳え立つ、まごうことなき地域のシンボル「彦根城」。築400年の歴史ある天守閣は、全国にある現存天守12城の一つで、特に姫路城・松本城・松江城・犬山城を含む国宝五天守と呼ばれており、徳川家康が関ヶ原の戦いのあと命じて井伊直継(なかつぐ)・直孝(なおたか)によって約20年の歳月をかけて建設され、元和8年(1622)に完成されました。石垣で構成された城郭平面構造が極めて良好な形で残っており、城全体の保存状態が最も良く、江戸時代の政治体制をあらわす代表例といわれています。



また彦根城だけではなく、周辺には埋木舎、玄宮楽々園、旧西郷屋敷長屋門などが歴史的建造物も点在しており、古き良き歴史を感じさせてくれます。お堀を抜けた目の前には「夢京橋キャッスルロード」「四番街スクエア」(月報6月号掲載)などの食事・土産処も充実！彦根城を中心に多くの観光客を魅了すると同時に、住み暮らす地域市民の「誇り、ともしめる場所」なのです。現在国宝に指定されている彦根城は2024年の世界遺産登録を目指し、市政、自治体を中心に活動を続けています。国内に留まらず世界に挑戦する「彦根城」は間違いなく地域の魅力スポットです！是非とも観光に訪れて頂き「現存する本物の歴史」に触れてみてはいかがでしょうか？

新たな仲間をご紹介します



名前	西村 健太郎(にしむら けんたろう)	林 弘純(はやし ひろずみ)	丸山 義樹(まるやま よしき)
勤務先	有限会社エコーラボ	株式会社エステート・トラスト	アイト工業
仕事内容	ホームページ制作、予約システムなどの各種システム開発	不動産(分譲、設計等)	建設業
趣味や好きなスポーツ	お酒を飲むことが好きです	サッカー	バスケットボール
結婚されていますか？	結婚して12年になりました	しています	していない
子供はおられますか？	3人	2人	いない
特技	プログラミング	我慢強い	バスケットボール
尊敬する人	アラン・ケイ	父親	父親
座右の銘	未来を予測する最善の方法は、それを開発することだ	馬には乗ってみよ人には添うてみよ	有限実行
入会前の彦根青年会議所のイメージ	カロム大会を企画されている印象が強かったです	地域の発展に貢献している活気ある組織	まちづくりなどを行っている
入会しようと思ったキッカケ	40歳で卒業とお伺いし、今参加しないと一生参加できなくなると思ったから	橋本一幾さんにお誘いいただいた	メンバーの方から話を聞いて参加してみたいと思いました
JC活動を通じて、どのように成長していきたいのか	まずは積極的に参加していきたい	地元への貢献及び会員の方々との交流の中で今後の経営者としての見解を深めたい	人前に立つ事、色々な方と接する事など今まで自分になかった経験をし、自分自信をレベルアップさせたい
自分はこんな凄い人間なんだと自慢して下さい笑	姫路セントラルパークで動いている年間パスのシステムは私が開発しています	以前勤めていた会社で営業成績トップはとったことがあります	自分の目的を達成するためにひたむきに努力すること、頑張る事ができる人間だと思っています

事業・例会案内

2021年 8月 6日 : 8月度(臨時総会)例会 ~組織の規律を高めよう!~

